

総合計画策定市民懇話会 < 第 3 回 > 議事概要

日時：令和元年 5 月 10 日（金）18:00～20:30

場所：北広島市役所 3 階 3D 会議室

1 開会

事務局：（開会）

座長：（挨拶）

2 分野別での意見交換

(1) 買い物環境、飲食店など

事務局：（資料説明）

構成員：移動販売車は大好評。利用者のニーズを聞き、改善しながら行われている。他の地域にも広げられればありがたいという声もたくさん出ている。空き店舗は、知人も利用しているが、土日や夜にイベントをやっていて若い人たちからも好評。山手町のショッピングきたひろ跡地には、小さな焼き鳥屋ができ、みんなで買いに行っている。

座長：移動販売車「おまかせ便カケル」は、黒字か。

構成員：生協側も、最初は黒字等を考えずに、まずは存在を知っていただき、目的はあくまでもお年寄りの方々のためにやっていると聞いている。

構成員：空き店舗の件は、これで北広島市に来てもらって開業される方が結構いらっしゃる。新年度も好評で枠が少ないため、予算を増額するか別な形の支援にするか、議論していただきたい。この補助のお陰で、商工会加盟が増えている。

移動販売車の件は、冬になると雪で道幅が狭くなり、停めるところがなくなるのではないかと懸念しているので、冬季間のサポートがあれば良いと思う。

構成委員：グルメマップの存在を初めて知った。飲食店があまりないと聞いていたが、これを見ると、意外にあることがわかった。

事務局：グルメマップは、民間が独自に作成し、市内各所に置いているが、経費の関係で全戸配布はしていない。

構成員：グルメマップは、できれば分野別に整理されると良い。北広島の食を売り出していくなら、北広島産のものを使用した料理を提供したり宣伝したい。市民の満足だけでなく、市外の人にも満足してもらい、評価してもらえるようにすべき。

他に、例えば J A の野菜直売所の隣に、新鮮な野菜で料理を出したりすると良いかと思う。

(2) 雇用環境の整備

事務局：（資料説明）

座長：働く場所がないと人口は増えない。雇用の場として、工業団地は、強みになると思う。

構成員：ボールパークができることで、どの程度の雇用が生まれるか。

事務局：延べ1万人程度と想定されている。1万人常時いるわけではなく、アルバイト、シフト社員等を含めての人数である。参考までに、三井アウトレットは約4,000人程度と言われている。

事務局：ボールパークでの雇用は、正規・非正規、高齢者、障がい者含めて、どういう割り振りで雇用の場を創出するかを考えているところである。単純に数だけで判断できるものではなく、質と中身と、その関わり方という所を今整理している。

当然北広島市だけで飲み込める人数ではないため、圏域も含め、南空知も含め話をしており、シルバー人材センター、社会福祉協議会もあるが、どう関わり、報酬を得るか。ボールパークにおいては、そういった視点が必要かと考えている。

座長：雇用が創出され、子育て世代に住んでいただければ人口は増え、経済も動く。

構成員：雇用環境を整備するだけでなく、そこで働く人たちのキャリアデザインという視点も今後必要。単に人を集めるだけでなく、働いている人たちがいかに自分の人生を、仕事を通して満足できるか、そういう視点は必要になってくる。

構成員：工業団地は大きな区画だけではなく、小さな区画で市内業者にも買えるようにしているが、もっと市内業者が使えるようになってくると良い。

親の面倒を見るため北広島市に帰ってきた世代向けの仕事がない。若年層だけではなくそういった世代にも目を向ける必要がある。

座長：輪厚工業団地はどのくらい埋まっているか。

事務局：輪厚工業団地は、90%以上が埋まっているが、稼働していない部分もある。

構成員：工業団地での雇用としては、北広島市民だけでは足りていないのが現状。周辺地域から働きに来ている。

構成員：輪厚工業団地でも、北広島市以外の広範囲から通勤している人がいる。ただ、交通の便が悪いため、各会社が自社で送迎バスを出し、通勤に困らないようにしている。

事務局：北広島は、市外への通勤者、通学者が多い。逆に市内に働きに市外から来るというように人の流れが、何年か前から少しずつ変わってきている。

(3) 駅周辺の再開発

事務局：（資料説明）

構成員：ボールパークに向かう道路が暗いというのはどうかと思う。学生も通るため、街灯も明るくすべき。駅前も暗い。また、駅に時計がついていない。全体的に明るくしていくべき。

事務局：他の市民からは、駅西口の再開発の話をする、あまり派手になってほしくないとの声があった。ただ、ボールパークが来るにあたり、必ずしも現状が良いという意味ではない。

座長：他の田舎のまちで、店が閉まると暗くなるが、ガラスショーウインドーの中の照明はつけておいて、明るさを残していた。閉店後の店舗にも軽い照明をつけておいていただくと、明るい感じがするのではないか。

構成員：夜の明るさは、他市と比較してもそれほど暗くはないと思うが、光の連担性をどう上手く使うかが重要であると感じる。以前は、各家庭でイルミネーションがされていた。そのように何か明るさのポイントとなるまちづくりがあると変わってくるかもしれない。

構成員：例えば小樽は、雪明かりの道づくりをしている。電気だけではない取組もある。

構成員：オホーツク地域のあるまちでは、大きな街灯ではなく、道路の下の方、足元を明るく照らすライトをつけていて、その通りがきれいに整えられていた。

事務局：通勤・通学時だけに使用する駅の機能から、ここ数年は、商業施設の集積というようなものを求める声が多くなってきている。ボールパークにより今後は人がもっと来る。いろいろなことができないか、今打合せを行っている。

昔は、夜の暗さをあまり感じなかったが、今は、もうちょっと明るさが欲しいというふうに、人の感覚が少しずつ変わってきている。バスに乗って家に帰るだけではなく、もう少し遊ぶところが欲しいというニーズの増加など、生活スタイルも変わってきているかと思う。

座長：節電が望まれるなら、LED、太陽光発電の活用もあると思う。ボールパークにより人がたくさん来るので、駅周辺を面白くしないと、来た方ががっかりされる。なぜ駅前の店は、繁盛していないか。通勤・通学のためだけにしか人が来ないからなのだろうか。

構成員：ボールパークが来ても、野球の試合以外には、人が来ない。野球がなくても、北

広島駅に行ったら、何か面白いものがないと、ただの素通り駅になる。

構成員：北広島産品を売る直売所、夏はアイスクリーム屋があると良い。

構成員：駅前でビアガーデンをやってはどうか。

構成員：エルフィンパークを活用できれば良いと思う。ただ道路なので規制がある。

構成員：駅前であっても採算性が悪いので、業者は撤退せざるを得ないのが現状。道の駅がないからつくってほしいよく言われるが、つくったものの中に何を置くか、施設の中を埋められる商品は今あるのか、それから用意できるのか。中身も同時に進めていかなければいけないと思うが、駅前の再開発も同じような側面があるのか。

構成員：北広島駅は、障がい者の方達のパン等の販売店はあるが奥まったところにある。もう少し優遇してあげられるような方法はないのか。

夏は、駅に直売所ができるが、駅にあるから買っているようだ。何か工夫したら人は集まるのかと思う。

構成員：エルフィンパークは、イベントスペースとしては結構有効。ただ火を使ってはいけない等の制約があるため自由ではない。

座長：制約の少ない空間を周辺につくり、店を開くということや、イベントを開催できれば良い。もしくは特区にしてしまうという手もある。

(4) 観光振興

事務局：(資料説明)

構成員：北広島市観光協会は、地域限定旅行業を取ったほうが良い。北広島市内及びその近隣、江別市、長沼町、恵庭市、その辺の範囲で、地域を限定した旅行をできるようにしたら良い。

ボールパークに来た人達へ、北広島市の魅力をアピールするには、今後の戦略としては点から線、面へ、お越しいただいたら、そのパッケージに乗って農泊をする。農業体験をするというパッケージで売る。

ボールパークができることにより、スポーツコミュニティが推進される。サイクルツーリズム、+スポーツツーリズム、ウォーキング等も行う。野球観戦と、スポーツツーリズムというコンセプトを絡み合わせて、観光協会主体の地域限定旅行業でPRしたほうが良い。

農泊のパッケージと合わせて、自転車で北広島を走る等、少なくとも三つ四つくらいのプランニングを立てて、初心者で半日しかない人にはこういうコースがお勧めであるとか、サイクリングをする中で、自然を特に楽しみたい方は、こういうところがポイント等について、パッケージ化して、面でプランニングを提案することが必要。スポーツ&ヘルスツーリス

ム、サイクルツーリズム、グリーンツーリズム、これらを地域限定旅行業という中で、大いにシティセールとあわせて行ったほうが良い。

構成員：農泊とサイクルツーリズムを掛け合わせて、宿泊研修や修学旅行の誘致があると良い。パークゴルフは本州の人は知らないので、パークゴルフを少し行ってみる等も良い。

座長：サイクリングする際、例えば途中でパンクしても、修理する店がない。サイクリングロードに行こうと思っても、終点の先にどう道が繋がっていくかわかりづらいので、発展していかない。

また、市内が幾つかの地区に分散しているのであれば、自転車の道でつないでも良い。市の自転車道を、有機的につなぎ、その拠点拠点に何か施設や店があると、自転車のまち北広島ということで売れる。

構成員：ボールパークができるので、スポーツ関連でスポーツ合宿を誘致してはどうか。サイクリングに加えて、ウォーキングも売りにしてもどうか。自然を楽しみながらウォーキングツアー、フットパス、このような仕掛けを総合的にやってみたら良い。

北広島でフットパス、サイクリングを楽しんで、夜は市内の飲食店で楽しんでいただければ一番だが、1泊は札幌、1泊は北広島でというような仕掛けも面白い。

座長：北広島内だけではなく、近隣の栗山町、長沼町と、うまく観光客を融通し合うというのも良いのではないか。近隣のリソースもうまく拾って、北広島を中心とした観光ツアーを組めれば良い。

構成員：宿泊場所が少ない。泊まる場所がないから、観光客は渋滞の中行ったり来たりしている。

構成員：自然の森のキャンプ場等、活用できれば良い。

構成員：英語授業開始により小学校では授業日数の関係上、遠足がなくなったところがある。子どもたちが遊んだり、運動能力も低下するのではないかと思う。土日を利用して、子ども向けにサイクリング等ができるとう良い。

事務局：市内に住んでいて、市内のキャンプ場に行こうという意識にはなっていない。逆に市外からたくさん来る。

座長：市P連主催で、子どものキャンプ大会をやると良い。

構成員：田園ウォーキングをやったら良い。イギリスのようなフットパス。石狩市内で、NPO法人が主催し、ガイドもいて、石狩のハマナス、ミズバショウ等、石狩の地形についても説明してくれる。石狩市とNPO法人で、札幌からも結構観光客を呼んでいた。

構成員：北広島市もまちを好きになる市民大学で行っている。ガイドもいる。

(5) 国際化への対応

事務局：（資料説明）

構成員：外国人観光客はいるが、多言語表記という面で北広島市内は不親切だと思う。多言語表記をしっかりとしたほうが良い。

事務局：北広島市に限らず多言語対応は遅れている。当市だけが徹底的に取り組むということではなく、国策としてやっていくべき。

構成員：学校内でも、日本語が話せない保護者は、子どもに通訳を頼んでいるが、なかなか難しい部分もある。市教委にお願いしても、通訳の方もなかなか手が回らない。

構成員：ポケットークを導入すると良い。定期観光バス全車にポケットークを導入したが凄く使い勝手が良い。

座長：学校数がそう多くないから、それはやればできるのではないか。

構成員：町内会にも欲しい。ごみ分別等、地域のルール説明にも使える。

構成員：ごみ処理場ができれば、もっと細かな分別になると思う。日本人でも混乱するのではないか。

座長：カナダのサスカトゥーン市との交流は、今でも続いているのか。特に若年層は海外の人との話をするなど、馴染んでいくというのも必要である。

事務局：国際化という中で、どちらかという受け入れ側の視点で話し合ってきたが、今の子どもたちをどう国際化になじませるかという視点も必要。

国際交流事業では、希望者は海外へ行くということで完結して、市民向けの報告会もやるが、興味ある人しか来ない。

どういう仕掛けで国際化を進めていくかを考えていくことが必要で、大学連携等もやり方として一つあるかと思う。

座長：北広島らしい海外研修があっても良い。とにかく治安の良い海外で一定期間暮らす。そうすると英語がしゃべれるようになるというツアーがあっても良い。

構成員：英語がどうして大事か、小学生のうちから教えてあげるのが一番良い。

(6) 市民参加・交流分野

事務局：（資料説明）

座長：シティセールスの目的は人口増加。そういう意味で言うと、なかなか成果が出ていないということか。それとも、やらなかったらもっと減っていたか。

事務局：どちらかというと後者。シティセールス推進事業によって何%転入してきたか分析ができていない状況だが、今年度はアンケート調査等により、どの程度有効だったのか調査していく予定。

事務局：現在、死亡数が出生数より200名以上多い。最近転入数が増え、社会増傾向ではあるが、自然増減で言うと、大きくマイナスになっている。シティセールス等をやっていかないと、さらにマイナスとなる。

構成員：転入者に北広島を選んだ理由を問うアンケートはしているか。

事務局：しています。定住先を決める理由は、土地の値段、教育、医療環境等、色々な要素がある。一概にこれが決め手とはいえない。ただ、北広島がどこに位置し、地価が事前にわかってよかったという方は多い。

シティセールスの効果の数値化や、実際にこれでどんな効果が有る無しに関わらず、やらないよりは、やったほうが良いと思っている。

構成員：子育て世代向けの移住パンフレットはあるが、高齢者向けのものが少ないのではないか。

事務局：今まで、まちのPRの冊子は分厚く、ターゲットもぼんやりしていた。ターゲットを子育て世代に絞って、パンフレットをつくった。次の世代に向けてどういうことをPRしていくかは必要な視点である。一方で高齢化を、どうまちづくりに活かすのか、次の展開もシティセールスでは必要かと思っており、世代ごとに分けて展開していかなければと思っている。

構成員：高齢者の札幌等への流出を食い止める何か策をさせていただかないと、減少は進んでいくと思う。

事務局：世の中の常として、空いた家に子育て世代が住んで、高齢者は次の住まいをという考え方も行政界を越えてありうる話だと思っている。全てを北広島市内で囲うために、大きなスーパー、大きなデパート、マンションを整備等していくのは、おのずと限界が来る。

座長：子どもをターゲットにして良いと思う。本州から転勤されてくる方は、どんな学校

かを事前に確認するために直接学校に電話をしてくるらしい。一人や二人じゃないらしい。
子どもの学校のために、家を建てたり、ここに入りたいたからと居住を移したという人がいるとのこと。良い教育環境が整備されていることも一つの呼び込みなどに使えるので、宣伝すると良い。

(7) ボールパークについて

事務局：（資料説明）

構成員：北広島市の認知度が低かったが、ボールパークの決定により認知度が上がってきた。更なる認知度向上に期待している。

移住のため、ネット検索をしようと思うが、検索上は出てくるが、知らないまちのことは深く見ない。

例えば北広島市のサイトをみて、移住してくれたら購入資金等プレゼントといったようなものがあたら深く見てくれるかもしれない。ただ、大抵は知らないまちに住む気もないので移住先として候補にも上がらない。

ボールパーク誘致により、本州でも野球好きな人には北広島市の認知度が上がったと思う。

構成員：交通アクセスの問題がある。新駅の話もあるが、現行の駅の改修が良いかと思っている。野球シーズンは真冬ではないので、徒歩で1.5キロならボールパークまで行ける。ただ、今のままの道を車の排気ガスを吸いながら歩くのは問題。

プロムナード的な位置づけで、当市の花ツツジを植えて、花々で飾られた道をゆっくり歩きながらボールパークへ行くというストーリーをつくったほうが良い。

シャトルバスのピストン輸送も考えられるが、運転手不足等もあり、将来的には自動運転になると思う。その他、寒冷地仕様のモノレールをつくっていただきたい。世界的にシティセールスを展開する上での有力な手段になるかと思う。

構成員：ゴールデンウィーク、お盆等には渋滞がおきている。

ボールパークができたときの渋滞問題はどうか。地域住民が渋滞により帰宅できない等はおこらないか不安。道路整備が必要。

座長：ボールパークができ、野球の試合終了後、JRに約1万3,500人が一気に駅に押し寄せると、電車に乗れないのは当たり前で、とても待たされるだろう。

それらを受けとめる飲食店、遊ぶ場所を、野球の試合終了後、1時間なり2時間営業してもらわないとならない。駐車場も夜遅くまで使うことができ、ボールパークの中で余韻を楽しんだ後に帰ることができるような運営としてほしい。

構成員：数万人単位の人が移動するときの交通機関の距離は、1キロは最低必要。ボールパークから駅まで1キロ以上あるので、結構分散されると思う。ある意味ちょうど良い距離なのかと思う。道路をもう少し拡幅するなり、屋根をかけていただけたら、大分歩く感じ

が違うかと思う。

サイクリングロードは、土日は混んでおり、ロードレーサーグループ、普通に自転車乗っている人、ウォーキングしている人、走っている人、スピードの違う人達が結構いる。子どもの自転車の練習には、土日は危なくてできない。可能であれば拡幅するなりしてもらえると良い。

構成員：動く歩道をつくれれば良い。

事務局：ボールパークにより、地域住民にどういう影響が出て、どういう状況になるか、球団、警察、国、道と今検討している。年間70試合で、満員になる試合が何試合あるかといったら、実際はそんなにない。試合の開催時間を含めて、いろいろなことを検討している。駐車場も2時間でどれだけ分散させて出せるか、駐車場専門会社とシミュレーションしている。試合終了後、全店舗閉店するが、居場所づくりのため店舗を残しておけないか。

駅までの人の分散、歩行者も北進通りを歩かせるのか、エルフィンロードを歩かせるのか。歩道橋をかけるのか。様々なパターンを考えている。

治安、ごみのばい捨て問題、路上駐車問題等も検討している。札幌ドームの駐車場は当初800台しかなかったが、今は民間駐車場を入れて3,000台となった。来るときは何とかなるが、帰るときに、何とか分散させることを考えている。

座長：冬の運営はどうするか。

事務局：冬は、温泉等を利用できる。会議室等、市民に使ってもらえる部屋もつくるので、年中開放する。周りの公園には、ちょっとした山をつくるので、スキー、そり遊び、冬のキャンプ等も仕掛けようかと考えている。ホテルもつくり、ショッピング、食べるところもつくる。

構成員：高校の方に音が行かないように騒音対策はどうするか。

事務局：山をつくり、木も植えるような形にする。

ただ工事期間中、どれだけの音が発生して、学校に影響があるかについては検討している。夜中に工事するしかない。

大きな考え方として、あのエリアを一つのまちと考え、スタジアムがあって、住むところがあって、遊ぶところがあると、もしかしたら保育園、幼稚園ができたりして、今までにないモデルができるかもしれない。そこに公共交通機関もしっかり位置されてくると良い。

座長：最後にお一方一言ずついただいて閉める。

構成員：やはりボールパークは凄く夢のある事業なので、総合計画に生かしていただきたい。あとは、ぜひ高齢者の雇用についてもつながっていただきたい。

構成員：ボールパークで観光に来た方の宿泊地だとか、雇用のことだとか、教育のこともここで、いろいろなことがこのボールパークを中心に広がっていけば良いなと、とても楽しみにしている。

構成員：今回これらの資料を見て、市にはすてきなパンフレット等の資料や取組がいっぱいあることを知った。喫茶店もあるので、もう少し市役所に足を運んでみようかなという気持ちになった。そのため、私たちの住んでいるところも、みんながそういう気持ちになってくれれば良いなと、ふと思った。

構成員：全体通して、北広島ってまだまだ知らないことがたくさんあり、魅力的な部分がたくさんあると感じた。観光も、雇用もまだまだ見込めると思うので、北広島が大きくなっていくのだろうと感じた。

構成員：夢物語的だが、せっかくの機会なので、高軌道の乗り物、モノレールのな何か北海道向けのそういったものが一緒にできて、この大曲、西の里、それから南幌とか長沼とつながるような形のものでできると、移住促進とか、世界的にも知られて、認知度が上がって良いかなと思っている。採算さえ合えばできなくもないかなと思う。そういうのがあるとうれしいなというふうに思っている。

構成員：私もお話を聞いて、出来るだけいろいろなものを吸収したいと思っていた。ボールパークは、本当に期待しているので頑張っていたきたい。私たち市民が応援しないとやっぱり実現しないということなので、応援したい。それと、国際化について、小さな会だが全道的に、女性の国際交流の会に入っていて、毎年札幌の国際プラザのほうからいろいろな国の方をお招きして、お話を聞く機会を設けているため、そういうのを北広島でも活発にやっていたきたいと思った。

構成員：総合計画も、諸項目いろいろお話ししていたが、一言で言うと、北広島地域ブランドの確立、これをつくっていく良いチャンスだと思う。

構成員：ボールパークについて、本当にできるわけなので、本当に夢のある形になってきてくれると思う。それと一方、北広島市はもともと西の里、輪厚、大曲、そして団地と分散している部分が、このボールパークを中心に、こちらの中央部を見ていただくことが今後出てくるのではないかというふうに思っている。本当にボールパークは、このまちにとって凄い今後の重要なポイントになっていくと思う。

3 次回（第4回）の意見交換分野について

事務局：今回は地区別についての意見交換をお願いしたい。

4 その他

事務局：次回は5月31日18時から場所は同様に開催するので、次回もよろしくお願いいたします。

5 開会

座長：（閉会）